

令和7年度 第1回八雲町カーボンニュートラル推進協議会 会議録（要旨）

○日 時 令和7年10月22日（水）13：30～16：15

○場 所 八雲町役場 第1・2会議室

○出席者 別紙のとおり

○傍聴者 2名

1 開 会 進行：事務局

2 町長挨拶

町長としての最後の公務が本会議となり大変光栄に思います。委員の皆様にはカーボンニュートラルに対して協力いただいていることに感謝申し上げます。

先般、熊石地域で小水力発電所が稼働しました。稼働までに色々なことがありながら、ようやく完成したという思いで落成式に参加させていただきました。八雲町はバイオマス発電、太陽光発電、小水力発電、風力発電など再生可能エネルギーの導入が進んでいる地域でありますので、今後もカーボンニュートラルに向かって進んでいくことを期待しております。

最後になりますが、改めて皆様に感謝を申し上げて最後の公務を締めたいと思います。ありがとうございました。

3 会長挨拶（会長）

4 議 事 進行：会長

《報告事項》

別紙資料1 事務局 企画係長植木より説明

別紙資料2 佐々木産業課長より説明

【委 員】

資料1 P4（6）風力発電事業についてですが、八雲町は遊樂部川、今金町は利別尻別川があり、ちょうど山脈の切れ目に当たるところです。特に遊樂部川はオオワシ、オジロワシの列島飛来地、多くの渡り鳥の中継飛来地として利用されています。日進峠を行ったり来たりしている可能性もありますので、バードストライクを避けることができないというのは事業検討事業者も説明されています。八雲町の鳥にオオワシを指定している以上はオオワシに影響があるような風力発電事業を受け入れるべきではないと思うがいかがでしょうか。

【事務局】

基本的には国の関係法令に基づき、環境保護の観点を考慮しながら事業を進めるというは大前提でございます。また、事業者には地域住民にもしっかりと説明し、合意形成を行いながら進めていただいている。町としても事業者が開催する説明会に出席し必要に応じて意見を伝えていく

が、委員も説明会に参加した際に意見を伝える機会があるのでご自身から説明していただきたい。

【委 員】

町民憲章があり、それに基づいてオオワシもその一つに入っていると思う。リスクがあるものと事業者も認めている。町の方針として打ち出されている以上リスクがあるとそういうものを受け入れること自体に町として表明すべきだと思う。町民全体で考えていかなければいけない。事業者とのやりとりは意味がない。今まで何回も言ってきた。でも周りでそういう声が上がっていないからどんどん先に進んでいるから何とかしなければならない。本当にこういう状態でいいのでしょうか。

【事務局】

風力発電については、バードストライクの危険性もございますので八雲町としては平成 29 年に風力発電等に係るゾーニング導入可能性の調査をモデル事業として実施しております。その中で、風力発電の立地を避けるべき区域（回避区域）、関係機関との合意を得る区域（要調整区域）、また、条件付き検討可能区域、いわゆる鳥類への配慮や地域の方々との適切な合意形成の条件を重視するといったゾーニングマップを基に検討しています。基本的には騒音、低周波、景観、バードストライクなど環境面における影響が懸念されるような事案は注視するとともに環境アセスの調査結果、住民説明会の状況なども踏まえてしっかりと対応していきたいと思います。

【委 員】

平田内川で進められている小水力発電事業は既設のダムを利用しているものですが、色々な川を見て調べてきてわかってきましたがダムの影響は計り知れないものがある。おそらく将来的には撤去する方向で考えられるようになってくると思います。その時に小水力をやっていると撤去できなくなる。改善も先送りされることになると思うので、それを考えると平田内川だけでそれ以外に手を付けないようにしていただきたいと思います。当初は冷水川とかあがっていたように思う。冷水川の川底が下がって川岸が崩れるようなひどい状況になっている。沿岸にも泥水が流れ出してる。そういう状況を考えると一次産業の水産資源への影響が大きい。ですから、これ以上小水力は広げないようにお願いしたい。

【事務局】

八雲水力発電（株）に八雲町も出資しているが、今後、出資者として危険性なども注視していきたい。再生可能エネルギーを推進するという本協議会として今後新たな河川での可能性が見つかった際には皆様方に相談しながら検討していきたい。

【委 員】

八雲町は酪農のまちです。家畜の糞尿が十分に得られる状況にあると思います。バイオマス発電を大々的に展開したほうが良いのではないかと思います。また、太陽光発電の発電パネルでペロブ

スカイトができてきている。試験的に導入して展開していけたら良いと思います。

【関係課】

バイオマス発電の現状として、大型法人化されている牧場 5 か所で順調に稼働しています。多くは自分たちの牧場から出る堆肥を活用した発電を行っています。中小の家族経営の牧場については、自分たちで堆肥舎で発酵させて畑に散布し、リサイクル活動をしている状況でございます。小さな牧場が単独でバイオマス発電するというのはなかなか難しいので、地域ごとに何戸か集まってバイオマスプラントを設置するということも町の計画の中でも検討したことがあります。実際に参加する意向のある農業者が少ないということもあり、今は計画が進めない状況でございますので、バイオガス発電の有効性については、農家の方々にも周知していきたいと考えています。

【事務局】

ペロブスカイトについては、雪の影響等により発電量に問題がないか北海道での実用化に向けた実証段階であります。しっかりと実績が出て、民間企業が町内で太陽光発電施設を立地する案件があり、そこに町も絡むことがありましたら積極的に導入を検討したいと思います。

5. 閉 会

6. 現地視察

説明者：八雲水力発電株式会社 小野 尚弘氏

令和7年度第1回八雲町カーボンニュートラル推進協議会 出席者名簿

No	役 職	所 属 / 役職等		氏 名	会議	視察	備 考
1	会長	熊石町内会連絡協議会	会 長	井口 啓吉	○	○	
2	副会長	北海道電力ネットワーク株式会社 やくもネットワークセンターお客さまサービス課	課 長	浅沼 真	○	○	
3		八雲町町内会等連絡協議会	会 長	大野 尚司	○	○	
4		八雲商工会	会 長	近藤 安幸	○	×	
5		新函館農業協同組合北渡島運営委員会	委員長	影浦 義和	×	×	
6		八雲町漁業協同組合	専務理事	小川 勝士	×	×	
7		落部漁業協同組合	専務理事	鎌田 和弘	○	×	代理：総務管理部長 池内 輝彦
8		ひやま漁業協同組合 熊石支所	支所長	増永 忍	×	×	
9		山越郡森林組合	代表理事組合長	牧野 仁	○	×	
10		株式会社北洋銀行 八雲支店	支店長	吉田 雄一	○	○	
11		株式会社青年舎 総務部	取締役	舟田 進一	○	×	
12		株式会社ユーラスエナジーホールディングス 電力事業推進本部 地域創生推進部	部 長	田中 園子	×	×	
13		一般公募		稲見 裕一	×	×	
14		一般公募		中沢 大樹	×	×	
15		一般公募		稗田 俊一	○	○	
16		一般公募		東間 和浩	○	○	
17		八雲町	町 長	岩村 克詔	○	×	
18		八雲町	副町長	成田 耕治	○	×	
19	関係課	八雲町 水産課	課 長	吉田 一久	○	×	
20		八雲町 産業課	課 長	佐々木 直樹	○	×	
21		八雲町 農林課	課 長	石坂 浩太郎	○	×	
22		八雲町 総務課	次 長	吉田 正樹	○	×	
23	事務局	八雲町 政策推進課	課 長	川口 拓也	○	×	
24			課長補佐	宮下 洋平	○	○	
25			企画係長	植木 靖恵	○	○	
26			企画係主任	吉原 匠	○	×	